

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 2 号

平成18年 2 月

岩 槻 知 也：批判的リテラシー研究の動向とその意義	1
田 井 康 雄：不良老人発生のメカニズムについて	11
田川元康・本谷 望・津村幸子： 障害児の統合保育に対する保育士の意識	23
深見友紀子・冨田芳正・横山七佳：電子キーボードを活用した幼児の 音楽セッションに関する研究	33
表 真 美：家庭科が教えてきた「食卓での家族団らん」 —戦後教科書から—	43
北川 隆・仲山正志：新しい領域「体づくり運動」について	51
栗 原 武 志：生活体育の思想に根ざした体育実践に関する研究 —佐々木賢太郎の生活綴方的な教育—	57
宮野純次・高桑 進：自然体験学習カリキュラムの開発と展開	67
森 博文・栗原武志・中山南海子： 幼児の運動能力の発達に関する一考察	77
黒 田 克 正：カウンセリング施設「心の相談室」 プレイ・ルーム壁画の制作	85
————— : —————	
平成17年度公開講座	95
修士論文・卒業論文題目	96

平成17年度 発達教育学系公開講座

- ◆発達教育学系春季公開講座 5月14日(土) 13:30~16:00
『豊かな表現力を育てる授業の創造—模擬授業と対談—』
- 【第一部】模擬授業(詩) 和歌山市立有功東小学校校長 武西良和氏
【第二部】対談「豊かな表現力を育てる授業」
和歌山市立有功東小学校校長 武西良和氏
本学教授 増田信一氏
- ◆発達教育学系秋季公開講座 11月26日(土) 13:30~16:30
『保育の場で生まれ育まれるもの』
- 【第一部】「保育の場でのエピソードから」
岩屋保育園園長 室田一樹氏
【第二部】「保育の場で生まれ育まれるもの—関係と個—」
京都大学大学院 人間・環境学研究科教授 鯨岡 峻氏
- ◆児童学科前期公開講座 7月9日(土) 14:00~16:00, 10日(日) 10:00~12:00
【第一日】「盲導犬と視覚障害」
関西盲導犬協会 盲導犬歩行指導員 青木言剛氏
本学助教授 倉本義則氏
【第二日】「親子で楽しむ人形劇」
人形劇上演:人形劇団 トロッコ
本学教授 棚橋美代子氏
- ◆児童学科後期公開講座 12月4日(日) 13:00~16:00
【第一部】「エジプトへ行ったエコアート」 本学教授 土田隆生氏
【第二部】「子どもたちとアート」 立命館大学大学院教授 神林恒道氏
- ◆音楽教育学専攻秋期公開講座 11月19日(土) 14:00~16:00
『バルトーク:村の楽師と20世紀の前衛』
大阪大学大学院助教授 伊藤信宏氏
演奏:本学助教授 大谷正和氏

平成16年度

大学院家政学研究科（修士課程）論文題目

児童学専攻

- 高橋 経子 女子青年の性行動の背景要因について —自尊感情と親への感情から—
高橋 登志子 戦後小学校音楽教科書研究

平成17年度

大学院文学研究科論文題目

教育学専攻（博士前期課程）

〈教育学領域〉

- 岸本 暁子 女子大学生の仲間集団における会話構造に関する一考察
—関係性を維持する方法としての会話を通して—
藤岡 三奈子 日本における教員評価システムの現状と課題

〈心理学領域〉

- 森山 幸恵 効力感の発達的变化とその規定要因

〈臨床心理学領域〉

- 有本 英里 ジェンダー意識とドメスティック・バイオレンスに関する研究
—大学生を対象に—
丹下 夏子 広汎性発達障害と育児ストレス
野田 由紀恵 夫婦関係が乳幼児をもつ母親の主観的幸福感に及ぼす影響
—母親の就労形態および子どもの年齢による検討—
福西 百合栄 幼少期の親との関係についての認識と青年期の対人認識との関連
—その性差に注目して—
村田 愛 幼児期から青年期にかけての内的作業モデルの変化とその要因

表現文化専攻（修士課程）

- 加藤 四季 《MISS SAIGON》
—ブロードウェイ公演で成功を収めた要因—
北島 元子 日常の中で想起する仮想世界 —絵画表現を通しての一考察—
北爪 かおり アグリコラ著『歌唱法の手引き』にみられる18世紀初頭の歌唱法について
—ヴィヴァルディのモテットRV630を例に—

- 佐藤友美 フレデリック・ショパン作曲《ピアノ・ソナタ第3番ロ単調Op. 58》の楽曲構造について
- 西村依子 「表現運動」授業における学習者の自己評価の傾向
—「表現運動」の特性をふまえた評価法の検討—
- 松田奈美 M. P. ムソルグスキー作曲《展覧会の絵》に対する M. ラヴェルと L. ストコフスキーのオーケストレーションの比較と考察
- 宮脇梨紗 セルゲイ・ラフマニノフのピアノ作品における前奏曲の位置づけ
- 山下嘉奈子 学校における「表現運動」指導の現状と課題
—小学校教員を対象とした調査研究—

平成17年度

文学部教育学科 卒業論文・制作題目

初等教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
足立 碧	「総合的な学習の時間」における音楽活動のかかわり ―音楽劇（オペレッタ）で育む「生きる力」―	(難波)
新井 希和子	低学年における居心地のよい学級づくり ―構成的グループ・エンカウンターを取り入れた学級活動をもとに―	(富村)
安藤 嘉奈子	バウムテストの枠づけ効果と親子関係	(山上)
池 嶋 望	読みの力を伸ばす朗読と読み聞かせの研究	(増田)
生 駒 美佳	学校における掃除教育の必要性	(福永)
石 崎 佳那	「ものとの関わり」が表現リズムあそびの学習にもたらす効果について	(川口・北川)
石田 菜奈美	育児不安の実態とその背景に関する考察	(岩槻)
石 田 陽子	確かな学力を育てる楽しい算数科授業	(吉永)
和 泉 香苗	現代の子どもたちと親子コミュニケーションの重要性	(福永)
一 圓 真由美	豊かな心を育てる読書指導の研究	(吉永)
稲 垣 清香	地域伝承文化（壬生の花田植）に学ぶ「子ども田楽」のあり方	(難波)
井 上 美香	こころを育む遊び ―田んぼと触れあう遊びを通して―	(富村)
今 井 由香里	女子大生の自我同一性の確立について ―進路選択との関連から―	(松浦)
岩 田 万里絵	案が句の使用が「走の運動」の学習に及ぼす影響について	(川口・北川)
上 造 輪泰子	わらべ歌を現代の教育にどのように活かすか	(石附・黒田)
上 田 明子	「総合的な学習の時間」における人との関わりによる子供の成長	(吉永)
上 田 妙	沖縄のアメラジアン子どもたち ―義務教育期間における就学問題―	(上田)
上 田 弥生	立体作品「ひと」	
打 越 美花	幼児向けキャラクターの創作「ニコちゃんのみかんちゃん」	(黒田)
浦 山 絵理奈	ペープサートを使った人形劇「たなばたものがたり」・「にんじんさん・ごぼうさん・だいこんさん」	(黒田)
大 内 美佐子	母親の自尊感情と子離れの関係について	(北尾)
大 久 保 佐紀	豊かな関わりを育む児童会集会活動 ―柳ヶ浦小学校（4～6年生）のアンケート調査をもとに―	(富村)
大 西 直子	基礎的な確率過程について	(安藤)
大 橋 由佳	発達の理論から考えた児童養護と現代の施設養護について	(田井)
大 森 麻美	道徳的雰囲気と学級経営	(田井)
岡 野 雅子	女子大生における「疑似自己」「現実自己」「理想自己」に関する研究	(北尾)
岡 本 裕子	導入期のリコーダー指導 ―楽器としての特性と学習形態に着目して―	(難波)
小 川 幸恵	「水辺の教室」による自然体験と環境への意識	(高桑)
小 川 智子	わが国における「学校効果（school effectiveness）」研究の課題と可能性 ―教育の階層格差問題をめぐって―	(森繁男)

奥谷裕子	自意識とセルフ・ハンディキャッピングとの関係について	(稲塚)
尾松亜紀	「自ら学び考える力」を育む良い授業	(吉永)
香島阿耶子	自己形成におけるターニングポイント	(田井)
片木良栄	排他性と仲間意識が攻撃性に及ぼす影響 —親しい友人間において—	(松浦)
片谷友美	大学生における孤独感の研究	(北尾)
加藤奈苗	小学校と家庭との連携をはかる —浜之郷小学校の挑戦「共に学び合う学習参加」に学ぶ—	(富村)
角広涼子	道徳性発達理論の比較考察 —「ケアの倫理」と「正義の倫理」—	(田井)
金子美佳	少年犯罪の実態と「いのちの教育」	(福永)
神島優里子	いのちの大切さを学ぶ生活科授業 —飼育活動を通して—	(富村)
川北沙織	豊かな言葉と想像力を育む絵本 —幼稚園における絵本の活用を中心に—	(富村)
川嶋恵	小学校における仮説実験授業の意義と実践にむけて	(田井)
河田織世	母性愛の意義について —わが子を愛せない母親—	(田井)
川野瞳	絵画作品「個性」・「IDENTITY」	(黒田)
川畑しずか	学校体罰を考える —よりより教師と児童の関係を目指して—	(福永)
神田愛恵	「樹」	(窪田)
菊野聖子	子育て支援の現状と課題 —認可外保育園でのボランティアを通して—	(山上)
岸雅美	平面作品「思い出」・「時間」	(黒田)
木下裕美子	学校教育におけるわらべうたの意義と可能性	(難波)
木村文香	100マス計算の発展	(安藤)
木村有沙	現代女子大学生の友達とのつきあい方と性格特性との関連について	(稲塚)
熊埜御堂迪子	障害児を養育する父母の子育て充実感についての研究	(山上)
藏重真紀	体験活動を重視した“理科大好きスクール”の実践	(宮野)
厚東証子	自分を知ることから始まる命の教育 —殺し、食べ、生かされ、死んでいく私たち—	(宮野)
此枝佳恵	漫画・アニメが与える子どもの心への影響力	(田井)
小堀康子	「特別活動」における音楽の可能性	(難波)
小松未央	テレビゲームの子どもへの影響とそれに対する大人の接し方	(福永)
後藤麻里	特別支援教育の今とこれからの課題 —諸外国の取り組みを踏まえて—	(福永)
坂井栄子	和算について	(安藤)
櫻井奈々絵	児童期までの母親の養育態度と、青年期までの友人関係が大学生の対人恐怖心性に及ぼす影響	(松浦)
佐々木智子	集団活動の楽しさを味わわせる低学年指導の工夫 —集団活動が好きになる生活科指導の提案—	(富村)
塩川紗代	豊かな心を育てる道徳教育の研究	(吉永)
塩見祐子	食の教育的意義を生かした家庭教育	(田井)
白山祐子	幼児の音楽と表現活動	(難波)
末益綾	国際結婚家族の母親たち	(表)
杵谷香澄	魅力ある理科学習を目指して —子どもの理科ばなれ・虫嫌いから探る—	(宮野)
杉村佑希子	「トマト」	(窪田)
諏澤友紀子	「ネット」「ケータイ」がつくる世界 —小学校における情報モラル教育—	(田井)
鈴木恵美	早期教育が子どもに与える影響	(表)
関元香苗	女子大生における携帯電話の利用が孤独感に及ぼす影響 —孤独恐怖心との関連から—	(松浦)
撰田亜弓	「夢幻」	(窪田)

卒業論文題目

園部由美恵	主体的に学ぶ演劇的学習の研究	(増田)
高山美加	「確かな学力」を育む教育を考える ―低学年における読書活動を通して―	(富村)
武内悦子	思いやりの心を育てる道德教育	(吉永)
竹中真衣	子どもの仲間集団における社会化機能について ―テレビアニメ「名探偵コナン」の少年探偵団をもとに―	(森繁男)
立川小雪	幼児期の人間関係 ―Doll Location Testを用いて―	(山上)
田中久美子	日本における識字教育について ―被差別部落の事例をもとに―	(岩槻)
田中ゆみ	道德教育を通して豊かな心を育む指導の研究	(吉永)
種村直子	伝え合う力を育む対話の授業	(増田)
田村愛子	地域教育の意義とその実際	(表)
田村美佳	豊かな心を育む道德教育 ―体験活動を生かした道德の時間をもとに―	(富村)
知念礼子	漢字表記語の認知処理過程の検討	(広瀬)
辻千佳子	絵画作品「フラッシュバックⅠ」「フラッシュバックⅡ」	(黒田)
辻良子	中学生の攻撃性と友人関係	(山上)
堤知子	後悔と情緒不安定性傾向 ―クリティカルシンキングとの関係から―	(松浦)
坪井由佳	岡山県の郷土芸能「うらじゅ」の指導法研究	(川口・北川)
東条類子	年中行事を通しての文化伝承教育	(石附・田井)
土居梨世	少年非行と家庭教育	(表)
内藤友子	乳幼児の発達と絵本 ―特に0～2歳児に焦点をあてて―	(岩槻)
猶貞加奈子	金銭教育の概念と実践に関する考察	(岩槻)
中谷益美	院内学級について ―前籍校と子どもをつなぐはたらき―	(上田)
中野歩美	音声を中心とした表現の指導について ―国語科と音楽科の学習内容から―	(難波)
中原節子	児童と読書感想文の研究	(増田)
中村晶子	現代における母性愛の意義について ―母性愛を発揮させるために―	(田井)
中山このみ	表現運動授業における導入部段階の指導に関する研究	(川口・北川)
成田夏子	青年の恋愛行動について	(吉村)
西倉裕子	「書くこと」で育てる豊かな人間力	(吉永)
西畑織江	地域性豊かな生活科教育 ―多様な人々とのふれあいを通して―	(富村)
西村麻衣子	学童保育の役割および意義に関する考察	(岩槻)
西山沙織	音楽科の鑑賞指導 ―“聴く力”を高めるために―	(難波)
新田祐子	女子学生の就業意識と母娘関係について ―本学における質問紙調査をもとに―	(森繁男)
野澤温子	書くことを生かす教育活動	(吉永)
野村友香	絵本の構造に関する研究	(岩槻)
羽川可奈子	青年期女子における自己愛と抑うつとの関連 ―原因帰属の観点から―	(北尾)
林彩子	生きる力を育む修学旅行のあり方 ―角川小学校の2004年の修学旅行を通して―	(富村)
林沙智亜	リズムがメロディー記憶に及ぼす影響の検証	(広瀬)
林千尋	生きる力を育む児童会集会活動の在り方 ―主体性や協調性の育成を中心として―	(富村)
林直美	「生きる力」を育む朝の読書	(岩槻)
原田恵利	幼少期における生活環境が心身の発達に与える影響 ―子どもへの望ましい働きかけ―	(田井)
平阪美穂	コミュニティー・スクール制度化の経緯	(上田)
平島夕香梨	『Happiness!!』	(窪田)
平野絵巳	否定的内容の自己開示における抵抗感と攻撃性	(吉村)
藤原愛	教育現場におけるデス・エデュケーションの必要性について	(田井)

藤原まゆみ	夫婦の姓のあり方 —夫婦別姓に対する女子大生の意識を通して—	(表)
冬木愛香	生きる力の土台となる生命尊重教育 —「生と死から学ぶいのちの教育」を子どもたちに—	(田井)
細川美沙子	青年女子の同一性拡散と母子関係	(稲塚)
細野永里子	絵本の世界から死を見つめる	(田井)
前田 梓	ジェンダー・フリー教育の理想と現実	(森繁男)
前橋紀子	学校図書館と司書教諭の役割	(表)
牧野千秋	これからの学校図書館の運営に関する考察	(岩槻)
牧野良美	明治期エリート教育としての帝国大学と官僚養成の関係	(上田)
増井千紗	父親の育児参加 —学生の子育て意識を通して—	(表)
松井絵里香	個性を生かす学級づくり —係活動を通して—	(吉永)
松岡真希	教育現場におけるノーマライゼーション	(福永)
松田智衣	自然体験活動の実態とその重要性	(表)
松本友里	小学校課程における外国語教育	(福永)
的場裕子	学ぶ意欲を育てる楽しい授業づくり	(吉永)
丸山今日子	学校における性教育のあり方	(表)
満長知子	小学校における食育	(表)
宮前優子	小学校におけるクラブ活動の意義と必要性 —大阪市の実践から—	(上田)
村尾公美	ソースモニタリングと再認における音声呈示形態が及ぼす効果	(広瀬)
村上 愛	青年期のブランド意識について	(吉村)
森田彩香	難病の子どもに対する教育的支援の考察	(岩槻)
森本あゆみ	子育てサークルの役割に関する事例研究	(岩槻)
安村優子	女 —午後—	(窪田)
柳谷亜耶	これからの保育 —幼保一元化に向けて—	(福永)
山崎彩子	食卓と家族団らん	(表)
山崎裕香	社会不適応を生み出す環境についての考察 —日本型ニートの発生構造を中心に—	(田井)
山下由希子	仕事と子育ての両立支援 —男性の育児休業から探る—	(表)
山田知見	子どもに読書習慣を身につけさせる指導	(増田)
山田萌絵	いのちの教育	(福永)
行本奈央	自己の性格と友人・恋人の性格との類似性と独自性欲求の関連について	(稲塚)
吉岡芽薫美	聴覚刺激提示条件下での読解に及ぼすメタ認知の影響	(北尾)
渡辺真弓	子どもを取り巻く食環境と食育の「今」を見つめることによるこれからの食育の考察	(福永)
和田恵莉加	今、あるべき教育の姿 —ゲーム・パソコン・携帯電話が与える影響から考える—	(福永)
井出理恵子	加熱報道が生み出す少年犯罪の凶悪化言説 —メディア・ソテラシーの必要性—	(森繁男)
神原綾夏	人間の発達と社会的逸脱についての—考察 —ひとを社会に繋ぎとめているもの—	(田井)
宮本りつ子	学び合いのある授業の研究	(吉永)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
今田有妃子	W. A. モーツァルトの演奏会用アリアについて	(秀村)
植田早緒里	減七の和音の用法 —J. S. バッハから F. リストまで—	(秀村)
大倉千香	高齢者の音楽への取り組み	(小林)
川上裕子	マツケンサンバⅡ再考	(荒川)

卒業論文題目

川 端 彩	学校と連携したアウトリーチ活動	(荒川)
河 畑 圭 美	ミュージカル『オペラ座の怪人』の研究	(荒川)
北 野 可 奈 子	ノードフ・ロビンズ式音楽療法	(荒川)
木 本 彩 子	ピアノ初歩指導におけるポリフォニーへの導入について	(秀村)
栗 栖 真 理	芸北神楽 一新舞と旧舞の違いを中心に―	(小林)
栗 原 綾 子	はめものから得られる演出効果	(小林)
重 富 文	幼児のためのピアノ教則本 ー導入における歌の扱いを中心に―	(小林)
杉 内 未 来	サミュエル・バーバーの《ピアノ・ソナタ》作品26の分析	(秀村)
須 田 緑	中学校における校内合唱コンクールの教育的役割について	(荒川)
瀬 上 未 紗	R. シューマンのピアノ・ソナタについて ー作品11と作品22の分析―	(秀村)
田 中 文 乃	総合的な学習の時間に関する一考察 ー地域の素材を生かした楽器製作を通して―	(小林)
津 村 京 子	宮城道雄が与えた影響 ー第1回作品発表会を通して―	(小林)
二 宮 麻 莉	武満徹と「樹」	(秀村)
人 見 有 紀	ショパンの4曲の《バラード》	(秀村)
南 佳 苗	タンゴ・カンシオンについて ーカルロス・ガルデルを中心に―	(荒川)
山 川 奈 緒 子	バルトークのピアノ曲《Allegro barbaro》にみるリストの影響 ーリストの《Csardas macabre》との比較を通して―	(小林)
山 崎 千 晴	ヨーゼフ・ハイドンとクラヴィーア	(秀村)
吉 田 絵 美	子どもにとって魅力的なピアノ発表会	(荒川)
吉 田 万 里 子	沖縄音楽界における知名定男の音楽活動	(小林)

平成17年度

家政学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
曾澤美果・奥野亜耶 ・小坂恭子	日本における病棟保育の現状と課題	(棚橋)
青木志帆	児童学科女子大生の統合保育に対する意識について	(倉本)
新井晴子	自閉症児への支援のための実態調査 —就学指導から学校での指導まで—	(田川)
縣麻里子	家庭における幼児のしつけに関する調査 —時代の推移による変化—	(田川)
東千尋・中寫優里	病棟における保育士導入についての研究	(大野)
池田智美	障害者の就労に関する企業の意識	(倉本)
出石久美	寺村輝夫作「王さまシリーズ」に関する一考察 —ナンセンス童話としての先駆的意味—	(棚橋)
稲垣光子・竹野和佳子	STDと不妊症に対する大学生の意識についての研究 —男子学生と女子学生の比較—	(大野)
伊吹祥子	女子大生のダイエット欲求と他者意識・自己認識欲求の関連について	(倉本)
今井祐子	青年期の愛着スタイルと友人関係	(倉本)
井村奈保美	打楽器の新たな可能性 —民族楽器からオリジナルクイーカまで—	(深見)
猪元友夏・北川藍子 ・黒川道子	仮面の制作研究 —子どものお面作りを中心として—	(土田)
上原裕子	子どもにとって「子ども部屋」は必要か —子ども部屋の変遷と今日的課題—	(川勝)
宇津木朋子・公文希美	時代が変えたアニメの存在 —アニメが誕生してから今まで—	(川勝)
太田晶子	エゴグラムからみた性格特性と睡眠の関係	(大野)
大槻亜耶・木村祐子	現代における子育ての実態と育児不安 —今後の子育て支援を考える—	(岩川)
大西明子	ミヒヤエル・エンデの長編ファンタジー作品にみる人間観・善悪観	(棚橋)
岡田千尋	幼少期のキャラクターとの関わりとキャラクターブームの関連性について	(川勝)
岡野衣里子・國府真知	T E Gにおける母親と子どもの性格特性の比較	(岩川)
岡橋千賀	保育所における「食育」の現状と課題 —奈良県橿原市立今井保育所を中心に—	(棚橋)
小川範子・倉本志穂 ・西部真理子・西村香葉子	わらべうた —今を生きる子どもたちにわらべうたの魅力を伝えよう—	(深見)
小川佳子	乳幼児における熱中症事故の発生要因の検討	(新矢)
小澤幸矢加	本学女子大学生におけるライフスタイルと身体状況	(新矢)
柿本真裕美	子どもの化粧 —子どもと化粧の関係—	(川勝)
河合陽子・木村友美	女子大生における障害を持つ人に対する役割期待	(倉本)
川上沙織	女子大学生の職業未決定の構造	(倉本)
川端佳子	ディズニー長編アニメーション作品に対する考察	(川勝)
木谷萌・古賀理絵	子どもを取り巻くインターネット事情 —潜む危険から子どもを守るために—	(川勝)
小林春佳	育児不安・悩み解消のための親支援プログラムの検討	(田川)
根東由梨	女子大生における「老人」観の研究 —SD法を用いて	(田川)
榊原しほみ	発達障害児の母親に対する育児支援モデルの作成にむけて	(倉本)
榊原令子	いわむらかずおの家庭生活観・自然観 —「14ひきシリーズ」を中心に—	(棚橋)
佐々木智美	オリジナルぬいぐるみの研究 —子ども達の好むぬいぐるみを探る—	(土田)

卒業論文題目

佐藤香織	ベリーダンスと母胎信仰	(野村)
里村亜矢	時代による子どもの変化 —「現代っ子」からの問題提起—	(川勝)
鮫島美咲	父親の養育態度と娘のジェンダー意識の関係性について	(倉本)
重田智子	昔話の中の残酷さと子ども	(川勝)
杉野原加枝	子どもの生活とお菓子 —お菓子とその役割の変遷—	(川勝)
鈴木奈々・田中美幸	子ども服に関する一考察	(川勝)
関智子・栃尾寿子 ・西川智加	万華鏡の制作研究 —ファンタジーの世界を創ろう—	(土田)
曾我舞・高本知明	子どものものの見方 —図形認知を中心に—	(岩川)
曾我部恵	女子大生におけるアダルト・チルドレンと嗜癖行動の関係	(倉本)
十河史恵	「うんちの絵本」における糞便の描写に関する一考察	(棚橋)
田口祐子	母親の養育態度に影響を及ぼす要因について —受容的態度の観点から—	(倉本)
竹久裕美・原村留美	絵と音を組み合わせる —絵本をもっと楽しく読むために—	(深見)
辰巳和嘉子	絵本に描かれた主人公の生と死	(棚橋)
谷村香織	子どものごっこ遊びに関する一考察 —物の見立てを中心に—	(川勝)
徴智恵	アート教育としての Live Painting	(深見)
續木加奈	母親の育児意識と父親の協力的関わり —母親の育児ストレスを中心に—	(田川)
坪井利恵	女子大学生における生活環境温度の年間変動	(新矢)
鳥生愛子・野見山彩子	おまけの存在意義と子どもにとってのおまけとは	(川勝)
中神惟	エアロビックダンスにおける音楽のテンポおよび運動内容と運動強度の関係	(新矢)
中川智美	通常学級に在籍する発達障害児への支援 —小学校での教育ボランティアを通して—	(田川)
中村恵美・前田里美	女子大学生の家族意識について	(岩川)
永井風子	ジョブコーチ養成にかかわる研修についての検討 —聴き取り調査における支援と 現行の研修について—	(倉本)
長屋泰子	知的障害児の性教育 —K君への実践事例の考察—	(田川)
南部裕子	知的障害児と就労支援 —教育と就労の連携を目指して—	(田川)
西館環	青少年が感じ取った母親の養育態度と性格との関連について —母親の養育態度が こどもの自我状態に及ぼす影響—	(岩川)
西柳香菜	熱中症による死亡事故の発生場所の検討	(新矢)
萩原佑香・山口真季	保育士と母親の「子育て支援」観 —アンケート調査を中心に—	(棚橋)
蓮見友理・南出有穂	入院患児の遊びの実態 —看護師・保育士の意識調査の結果から—	(大野)
濱口沙夜香・守田加世子	小児科病棟における遊び活動 —音楽を取り入れて—	(深見)
福井悠子	音の世界に出会う —耳を澄ましてごらん—	(深見)
古市真菜	子育て不安と望まれる支援 —地域差の視点から—	(田川)
古本絵美	保育園(所)における絵本の重要性	(棚橋)
保坂芳恵	モンテッソーリ教育の可能性 —感覚教具を中心として—	(川勝)
前田有香	幼稚園における文庫活動の在り方 —ゆう文庫の実態を中心に—	(棚橋)
政春有美	父親-娘の関係についての研究 —娘の結婚観や異性観と父親の魅力との関係—	(岩川)
松淵敬子・松本昌子	女子大生の便秘について	(大野)
松本このみ・森下めぐみ	子どもの事故防止への母親と父親の意識の違いについて	(大野)
真鍋有紀恵	斉藤隆介が描いた英雄像	(棚橋)
水口真奈	自閉症児への視覚支援の有効性の検討	(田川)
水野小織	保育事例に対する保育者の対応の在り方 —具体的な事例のアンケート調査を通じ て—	(岩川)

宮尾佳奈	子どもの遊びの時代的变化の研究	(田川)
宮下由香利	高校生のユーモアへの態度と対人関係意識に関する研究 —対人関係を円滑にするユーモアの有効性—	(岩川)
宮田真里・吉田知代	胎生期の bisphenolA の暴露によるマウスの行動異常に関する研究	(大野)
三好茉莉花	描画活動による心的変容の事例研究	(土田)
栗田礼恵	アレルギー児童を取りまく生活環境の変化についての研究	(大野)
本山杏奈	障害児の統合保育に対する保育士・幼稚園教諭の意識	(田川)
山口菜穂・弓場優雅	自閉症児への支援方法の検討 —集中時間を中心に—	(倉本)
山口真由子	保育園・幼稚園における仏教保育の必要性と課題について	(野村)
山口玲奈	きょうだい構成による子どもから見た親の養育態度の違いについて	(岩川)
山崎蓉子	浄土真宗本願寺派日曜学校の社会的役割	(野村)
山根葵	まんがに描かれる「少女イメージ」 —少女まんがと少年まんがの比較から—	(川勝)
平塚奈央子	現代アニメにおけるジェンダーの変化 —2000年代のテレビ・アニメ番組分析より—	(川勝)
横山文香	新美南吉童話に描かれた母親像 —幼年童話を中心に—	(棚橋)
渡邊杏子	絵本における絵と文字の役割	(棚橋)
太田しのぶ・山田芽	ボディーペインティングの心的効果について —投影樹木画法を用いて—	(土田)
奥田明日香	投影樹木画法におけるトラウマ指標の一研究	(岩川)
数枝尚子	女子大学生の子育ておよび少子化に対する意識調査 —子どもとの触れあい体験との関連—	(岩川)
神山友香理	紙芝居の特質に関する考察 —「かさじぞう」を中心に—	(棚橋)
粉川紗規子	交通事故被害者および被害者遺族の心的状況 —考察—	(岩川)
谷井徳子	2人きょうだいにおける姉と妹の性格特徴について —年齢差の大小による比較—	(岩川)
浪越美樹	子どもの事故防止に対する保護者の意識調査 —第1子と第2子移行の比較—	(大野)
平井里佳	児童館・子育て支援センターにおける子どもの「音・音楽」遊びのあり方	(深見)
中田有香	育児不安と夫の精神的サポート	(倉本)
本忠江梨	少子化の現状と現代青年の意識 —男女別比較を通して—	(岩川)

〈投稿規定〉

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本規定第3条に挙げる諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他を掲載する。
- 第3条 研究論文等の掲載は、教育学、児童学、心理学、学校教育学、芸術、その他の領域ごと一括して行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は、次のとおりとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員、及び短期大学部初等教育学科専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 投稿原稿の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第6条 刷り上がり10頁を超えるもの、及び原稿印刷に関して特に費用を要するものは、執筆者の負担とする場合がある。
- 第7条 執筆者に対しては、抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部分については実費負担とする。
- 第8条 投稿された論文等の複写権及び公衆送信権は、原則として京都女子大学発達教育学部に帰属するものとする。ただし著作者が、事前に申し出た上で自己の論文等を利用することは差し支えない。
- 第9条 この規定は平成17年1月19日より施行する。

編 集 委 員

稲 塚 葉 子	岡 林 典 子	川 勝 泰 介
川 口 千 代	新 矢 博 美	秀 村 冠 一
福 永 俊 哉	(五十音順)	

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 2 号

平成18年1月25日 印刷

平成18年1月31日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 図書同朋舎

BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 2 February, 2006

CONTENTS

- Tomoya IWATSUKI** : Trends and Significance of Critical Literacy Studies 1
- Yasuo TAI** : Über den Mechanismus von dem Ausbruch der alter Böcke11
- Motoyasu TAGAWA, Nozomi MOTOYA, Yukiko TSUMURA** :
A Report of Perceptions toward the Inclusive Nursery Education of Disabled
Children among Nursery Teachers.23
- Yukiko FUKAMI, Yoshimasa TOMITA, Nanaka YOKOYAMA** :
A Study of Exploring the Potentiality of Keyboards into Preschool Music
Education33
- Mami OMOTE** : Transition of “the Communication at the Family Meal” described
in the Home Economics Textbook after World War II43
- Takashi KITAGAWA, Masashi NAKAYAMA** :
On new unit “Karada Tukuri Undo”51
- Takeshi KURIHARA** : A study of physical education practice based on
thought of physical education through life activities
— “Seikatsu-Tsuzurikata” education of Kentaro Sasaki —57
- Junji MIYANO, Susumu TAKAKUWA** :
Development of the learning curriculum through nature experience activity ...67
- Hirofumi MORI, Takeshi KURIHARA, Namiko NAKYAMA** :
A Case Study on the Development of Motor Ability in Infants77
- Katsumasa KURODA** : Mural painting for playroom of KYOTO WOMEN'S
UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL COUNSELING CENTER85